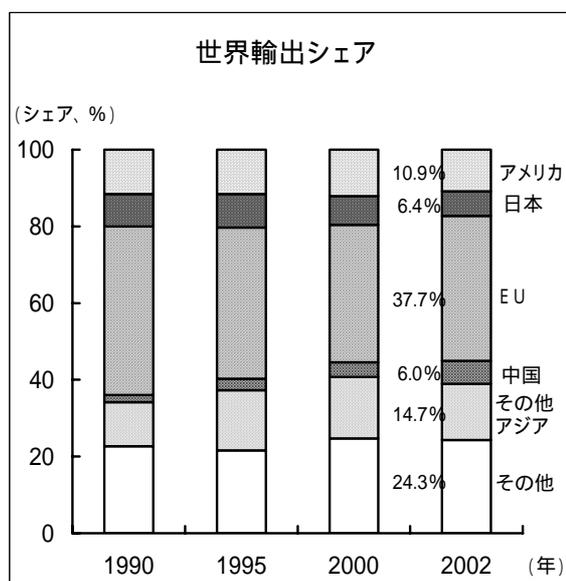


(備考) 1. IMF "World Economic Outlook "(2003年9月)

2. 世界輸出と輸入の伸び率の平均。
3. 財貿易、数量ベース。



(備考) IMF "Direction of Trade Statistics"

<2003年～2004年の動向>

2002年の世界貿易(財、数量ベース)は、前年比3.3%増加した。金額ベースでみると、世界輸出は前年比3.7%増加し6兆3,564億ドル、世界輸入は同4.3%増加し6兆6,774億ドルであった。2002年は世界経済回復の動きに伴い、IT関連製品の貿易が持ち直したことから、貿易量が増加した。

IMFによれば、2003年の世界貿易(財、数量ベース)の伸びは2.9%、2004年は5.4%となっており、世界貿易は着実に増加すると見込まれている。

主要国・地域ごとにみると、アメリカでは、2002年初めを底に輸出額、輸入額ともに増加基調となっている。IMFによると財ベースの輸出額については、2003年は0.3%、2004年は6.3%となっている。また財ベースの輸入額については、2003年は2.6%、2004年は4.9%となっている。景気の回復に伴い、2004年にかけて貿易量は増加が見込まれる。

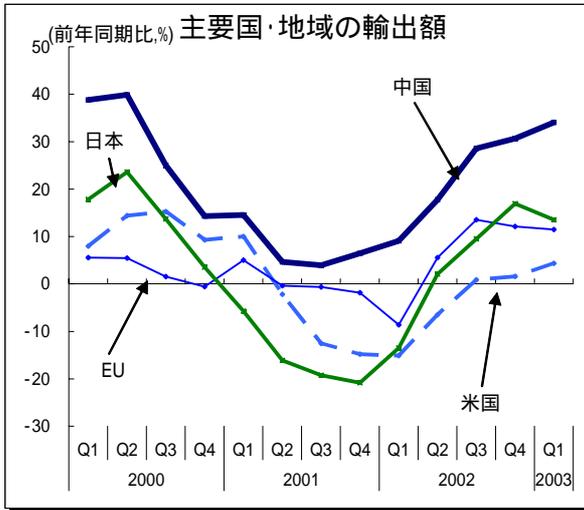
アジア地域では2002年1～3月期を底に、輸出入ともに急速に回復している。IMFによると、輸出は金額ベースで2003年に14.1%、2004年は9.6%増と、2004年には若干鈍化するものの、他の地域よりも高い伸びが見込まれている。アメリカの景気回復に伴い、アジア各国・地域は対米輸出でも増加傾向にある。

<急速に伸びる中国の輸出>

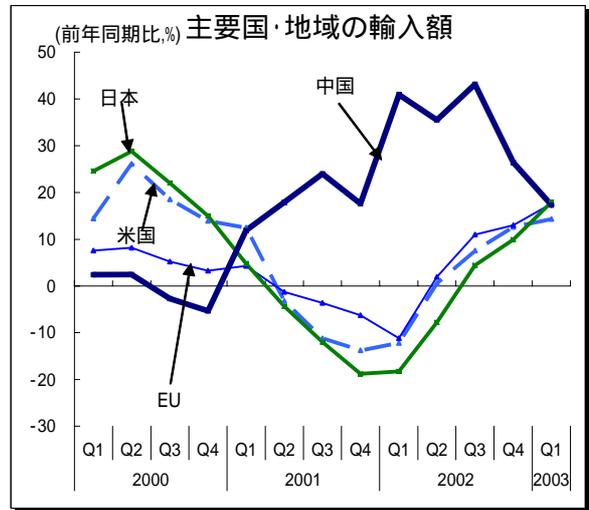
このような中で、中国の伸びは著しく、2003年1～3月の輸出額の伸びは、アジア全体が17.9%であるのに対し、中国は34.0%となっておりアジア全体の牽引役となっている。

アメリカにおける中国からの輸入は、1990年には6位(シェア3.2%)だったものが、2002年には3位(シェア11.1%)と急速に増加している。日本における中国からの輸入は、1990年

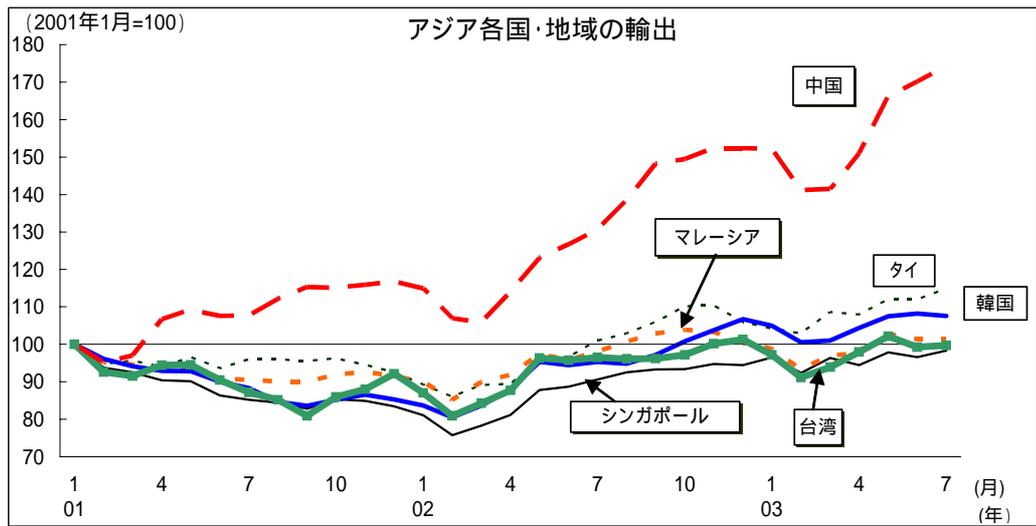
には4位(シェア5.1%)だったものが、2002年には1位(シェア18.3%)を占めており、中国との関係が一層深まっている。



(備考) IMF "Direction of Trade Statistics"



(備考) IMF "Direction of Trade Statistics"



(備考) ドル建て輸出額の3か月移動平均値。

主要国の輸入における国別順位
中国の順位が上昇し、アメリカでは第3位、日本では第1位に。

		1位		2位		3位		4位		5位	
		国名	シェア(%)	国名	シェア(%)	国名	シェア(%)	国名	シェア(%)	国名	シェア(%)
アメリカ	1990年	カナダ	18.1	日本	18.0	メキシコ	6.0	ドイツ	5.6	韓国	3.7
	2002年	カナダ	17.8	メキシコ	11.3	中国	11.1	日本	10.4	ドイツ	5.3
日本	1990年	アメリカ	22.5	インドネシア	5.4	オーストラリア	5.3	中国	5.1	韓国	5.0
	2002年	中国	18.3	アメリカ	17.4	韓国	4.6	インドネシア	4.2	オーストラリア	4.1
韓国	1990年	日本	25.0	アメリカ	22.8	ドイツ	4.4	オーストラリア	3.5	インドネシア	2.2
	2002年	日本	19.6	アメリカ	15.2	中国	11.4	サウジアラビア	5.0	オーストラリア	3.9
ドイツ	1990年	フランス	11.7	オランダ	10.1	イタリア	9.3	ベルギー	7.2	イギリス	6.7
	2002年	フランス	9.5	オランダ	8.2	アメリカ	7.7	イギリス	6.5	イタリア	6.4

(備考) IMF "Direction of Trade Statistics"